

過去実施された提案型協働事業の現状について

資料2

提案年度	事業の名称 (提案者)	現在の状況について
平成27	すわの森環境保全事業 (すわ・氷川森の会)	【継続】湧き水を水源とする水路の環境整備、周辺の草刈りなどの管理作業やホタルの幼虫の放流を行った。5月下旬から6月にかけて、ホタルの舞う姿を一般見学者と確認することで、市内に残る貴重な緑地の存在と自然環境保護の重要性を再確認してもらうことができた。
平成27	コスモス育成活動事業 (コスモスの会ふじみ)	【継続】「コスモスの会ふじみ」は令和4年度解散し、事業は「水谷小学校区まちづくり協議会」へ継承された。育成作業を行い、秋には綺麗なコスモスが咲いた。また、コスモスマつりを実施したことで多くの市民に足を運んでいただき、楽しんでいただくことができた。市は資材運搬や必要材料の提供を行うなど、協働により地域の魅力づくりを行った。
平成28	マタニティコンサート&産後ケア講座(仮) (ムジカベベ0歳からの音楽会)	一般社団法人0才からの音楽会は音楽で子育てを豊かにするをミッションに活動している団体です。コンサートの企画から運営・演奏まですべてを行っています。ムジカベベ0才からの音楽会東京(東京都小平市)、ムジカベベ0才からの音楽会松本(長野県松本市)、ムジカベベ0才からの音楽会ふじみ(埼玉県富士見市)の三拠点で活動中。2014年の立ち上げ以来、主催公演は122公演、お越しくださった親子は延べ22,726名に上ります(2023年4月現在)。保育園や幼稚園、自治体等からの依頼演奏(出張演奏)の実績も多数。(団体HPより) ※次回富士見市でのコンサートはR7年1月26日開催。
平成29	野良猫の不妊手術事業 (富士見さくらねこ応援団)	【継続】野良猫対策として、地域住民の理解を得た上で野良猫に不妊去勢手術を行い、給餌及びトイレの設置などを適切に管理し、野良猫の数の抑制を図る。また、犬・猫ともにどうぶつ愛護関連のポスターや広報を利用した市民への啓発により、動物の遺棄を抑制し、適正飼養を呼びかける。団体はふるさと祭りなどイベントに出店し、譲渡会により里親を募集の活動も続けている。
平成29	座敷ぼうき製作技能伝承者の育成事業 (難波田城いきものがかり)	団体は現在「ほうき作り伝承会」として活動中。難波田城資料館にて年1回「ミニほうき作り体験」を難波田城資料館の協力により開催。また、月2~3回ほうき草の栽培など、市と関わりを持ちながら活動している。
平成29	たんぼラグビー&出張タグラグビー体験会 (スクラム富士見)	【継続】令和6年度「東入間ラグビーフットボールクラブ」、「たんぼラグビー実行委員会」)「第5回たんぼラグビーin富士見・南畑」が開催。また、会場となるたんぼで米作りを行い、地産地消の取り組みも行っている。また、収穫したお米は、事業実施に協力している、立教大学ラグビー部に「たんぼラグビー米」を贈呈。立教大学ラグビー部に贈呈し、力をつけて試合へのエールを送るなども行っている。

提案年度	事業の名称 (提案者)	現在の状況について
平成29	ペット動物災害対策事業 (彩の国動物愛護推進員ちーむ富士見)	【継続】 ・市が開催した「富士見防災リーダー養成講座」にて、ペット防災講座を講義を実施したほか、「富士見市総合防災訓練」にて、参加者にペット防災に係る知識や準備していただきたい備蓄品等を啓発することができた。・ららぽーと富士見で開催した「第11回「& EARTH 災害に負けない知識を学ぼう！」にて、ペット防災ブースを設け、ペット防災グッズの展示やリーフレットの配布等により、来場者に対してペット防災に関する普及・啓発をすることができた。
平成30	富士見ぞう列車がやってきたコンサート (富士見みんなでプロジェクト)	団体の事業は、毎月の配食事業や子どもの居場所づくりに関する研修会や、交流会を開催。コンサートについては、令和6年9月「平和への祈りコンサート」、11月「ミュージックフェスティバル」(主催コル・カルト)への協力を行っている。
平成30	ミニ鉄道運転会40周年記念車両製作 (富士見市ミニ鉄道クラブ富士見部会)	【継続】 団体と市の協働事業として、ミニ鉄道運転会は44年目となる。協働事業で作成した記念車両「ふわっぴー号」も現役運転。
令和元	みずほ台駅開設の日をみんなで祝う「みずほ台の日」 (みずほ台の日実行委員会)	協働事業としての実施はコロナウィルス感染症の影響により中止となったが、令和4年10月21日に実施。お祝いイベントやスタンプラリーが行われた。また、同年10月29日にもゲームコーナーや物販コーナー、アーティストを招いてお楽しみイベントが催された。